

令和5年度 学校評価

1 学校目標

神社神道を建学の精神とし敬神崇祖を教育の根幹として「浄・明・正・直」の心を養う。
生徒の才能と適正を開発し、学力・体力・気力の増進を図り個性あふれる心豊かな生徒を育成する。

2 中期目標

<p>1 学校運営</p> <p>(1) 神社神道の精神である「浄明正直」を実現する</p> <p>ア、授業・学校行事を通して神社神道の「こころ」を体得する</p> <p>イ、奉仕活動を積極的にを行い奉仕の精神を養う</p> <p>(2) 教員研修の充実</p> <p>ア、中学独自の教科別の教員研修の実施</p> <p>イ、道徳教育推進委員会による道徳研修会の実施</p> <p>ウ、ICT教育推進のため各種研修会・発表会・見学会の参加</p> <p>エ、新任教諭による研究発表会の実施</p> <p>(3) 学校施設の充実</p> <p>ア、学習施設の整備充実</p> <p>イ、校内学習補助機材等の充実</p> <p>(4) 危機管理体制の確立</p> <p>ア、災害時、管理マニュアルの作成</p> <p>イ、水・食料・レスキューシートの備蓄</p> <p>ウ、防犯訓練・避難訓練の実施（大阪880万人訓練の日）</p>
<p>2 基本的生活習慣の確立</p> <p>(1) 人権教育</p> <p>ア、生活実態調査</p> <p>イ、道徳の授業と関連させた人権教育</p> <p>(2) 生活指導</p> <p>ア、正門での登下校時の指導</p> <p>イ、いじめ防止マニュアルに添ったいじめ実態アンケートの実施</p> <p>ウ、服装・頭髪等の指導</p> <p>エ、中学朝礼での、生徒生活指導部長から注意</p> <p>(3) 講演会、講習会の実施</p> <p>ア、薬物乱用防止教室の実施</p> <p>イ、防犯教室の実施</p> <p>ウ、人権研修会</p> <p>エ、ネット犯罪防止教室の実施</p> <p>オ、自転車通学者講習会の実施</p>

3 学力向上と進路

- (1) 教科指導の強化
 - ア、教員研修会の実施
 - イ、道徳教育の実践による教員のスキルアップ
- (2) 英語教育の強化
 - ア、英語検定全員受検と受検のための指導
 - イ、イングリッシュキャンプの実施
 - ウ、オンライン英会話の実施
 - エ、ECL教室の活用
 - オ、語学研修の実施
 - カ、英語科教員に英語検定取得とTOEICスコアの取得の奨励
- (3) 講習等の実施
 - ア、始業前の学習指導
 - イ、放課後講習の実施 [すらら (自立学習支援システム) の活用]
 - ウ、長期休暇中の講習実施 [すらら (自立学習支援システム) の活用]
- (4) ICT教育の推進
 - ア、ICT関連のICT教育先進校、ICT活用授業モデル校訪問、研究会、展示会参加
 - イ、生徒に1人1台のChromeBookの配付
 - ウ、研究授業実施 (電子黒板・ChromeBook を活用した授業研修)
- (5) 外部講師による特別授業の実施
 - ア、道徳授業
 - イ、防犯教室

4 保護者地域に開かれた学校づくり

- (1) 保護者による授業参観と懇談
 - ア、年二回の授業参観の実施
 - イ、学期毎の成績懇談の実施
- (2) 保護者との連携と情報発信
 - ア、保護者参加型の行事を実施
 - イ、Classi及びホームページでの情報発信
- (3) 地域活動への参加
 - ア、地域のイベントへの参加
 - イ、吹奏楽部定期演奏会 (フェニーチェ堺)
- (4) 奉仕委員会
 - ア、地域での奉仕活動

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己アンケートの結果と分析	学校評価委員会からの意見
<p>○生徒 アンケート結果によると、生徒の90%以上が学校生活を楽しく過ごしているとの結果が出ている。授業に関しては、65%の生徒が「理解しやすくレベルが丁度良い」とし、20%の生徒が「レベルが高く満足している」と答えており、合わせると9割近い生徒が満足していると答えている。全ての授業においてレベル・進度共に適切であり、ICTをうまく活用されていて、非常にわかりやすく、板書も見やすいとの意見が大半である。また、ベル着ができていない生徒が25%とやや多いが、授業には集中して取り組めていた。ただし、教科の内容に関しては、12%の生徒が興味がないと答えており対応が必要である。家庭学習の時間は、「すらら」（学習支援システム）の影響もあって年々増加している。部活動に対する生徒の気持ちの強さは、毎年高く、本校の目標である文武両立を達成するために、日々努力している様子が伺える。</p> <p>○保護者 新型コロナウイルス感染症が5類に移行して以降は、積極的に学校行事の形態をコロナ以前に戻した。授業参観も例年通り実施し、終了後保Google Formsで行った保護者アンケートの結果は、とても良かった（53.7%）、良かった（37.4%）を合わせると91.1%ととなり好評だった。個別のご意見では「電子黒板を使った効率の良さがわかりました」や「クラスの雰囲気良く安心した。」「入学以来、中学校生活を心から楽しんでいるようです。」などが寄せられており保護者からは非常に満足を受けている。</p> <p>○教職員 全教職員のアンケートによると、学校運営については、建学の精神や愛校心、校内教員研修の充実についてもほぼ100%の教職員が達成したと評価をしている。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、学校行事をコロナ前に戻しつつあるが、地域との交流についての項目は昨年の62%からは改善したが、73%と若干低めにとどまっている。地域と共同で清掃活動をするなどの提案がされている。教育内容については、全ての項目でほぼ100%の評価となっており、授業の質を高める努力やきめ細かい指導の必要性を、本校の教職員が重要と考えているといえる。危機管理の項目では、昨今の自然災害の多発化による影響か、より実践的な訓練を希望する声が複数あり、次年度に向けた検討が必要と思われる。また、内部進学が前提の為将来の進路に対する意識が弱いと答えている者も居り、職業や生き方に関する講演や学習機会の確保を検討する。</p> <p>○分析 浪速中学校の教育環境に関しては、三者（生徒・保護者そして教職員）とも非常に高いレベルにあると感じている。その中でも特に目立っているものは、ICT機器を利用した授業、習熟度別授業の実践（2クラス3展開の授業スタイルは好評）、部活動の充実（全国大会出場クラブの増加）、HPの積極的な活用（特にスクールウォッチの掲載）、保護者連絡システムの充実と言える。 浪速中学校では、生徒の様子を常に細やかに観察し、問題の未然防止・早期解決につなげる努力をしている。その面倒見の良さが本校の教育の最重要項目であるのとらえている。また、自らの考えを伝える能力を育成するために、道徳教育を通して行うことはもちろんのこと、英語4技能の強化を通しても行っている。更なる教育の向上を目指して進んでいくべきと考えている。 今年度は、コロナ関係により登校できない生徒向けにオンライン配信を併用したハイブリット型授業を行い、生徒・保護者とも高く評価されている。</p>	<p>浪速中学の生徒の皆さんを見てみると、とても楽しそうで、学校生活が充実しているのだと感じます。</p> <p>授業内容は、どの先生方もとても工夫されており、教科書や、ノート以外でもプリントやクロームブックの活用で、家庭での予習復習もしやすくされている。勉強だけでなく、多くの生徒さんたちが、部活動にも参加され、高い位置での文武両立を成し遂げるために、日々努力されている姿は本当に素晴らしいと思います。</p> <p>90%の生徒達が満足とのことは素晴らしいことです。しかし、12%の生徒が教科書の内容に興味が無いと云うのは教科書の採択内容なのか何か原因があるように思われますね。又、土曜日休日を導入するに当たり、着席ロスは大きい課題ですね。</p> <p>今の自分に何が必要なか。これからの時代に何が必要なか。を真剣に考えてもらいたと思います。勉強やクラブ活動・友人関係やその他の活動など大いにチャレンジしてたくさん経験をさせてもらいたと思います。</p> <p>今年度は、コロナも収まり、徐々に学校行事も増え、保護者の皆さんが学校の様子を見られる機会も増えました。授業参観では、日頃の授業風景も見られ、授業内容はもちろん、学校設備の充実した環境に、満足し、安心された保護者の皆さんも、多いのではないのでしょうか。</p> <p>保護者の方の53.7%の方から『良かった』の評価と学校生活が楽しいと云う評価は良いことです。只、電子黒板のツールは見た目にはよく見えますので生徒たちがどの程度理解ができていくのかについて、単元毎に確認が必要だと思います。</p> <p>コロナ禍もあけ、以前の様に学校行事等が戻ってきています。今後のPTA活動をしていく中で、コロナ禍の影響等も踏まえ、今後は今まで以上に保護者の皆様に活動に参加していただける様に考えていきたいと思っています。</p> <p>浪速中学校の先生方は、皆さん本当に勉強熱心で、授業も常に工夫されており、質の高いレベルでの環境を、提供して下さっています。 いつも生徒のことを思い、日々努力して下さいます。 生徒一人一人にもきめ細かいご対応。質の高い授業、そして、危機管理もしっかりされていて、保護者としては、とても安心できます。</p> <p>地域との共存は不可欠ですので大事なことです。先生方の意識の高さ立派なことですので、『実行』あるのみですね。</p> <p>今まで以上に学業の授業や生活指導をお願いしたいと思います。 若い教職員も増えているかと思えます。教育関係の研修会や講習会等ではなく一般社会の事を学んでいく必要があるかと思えます。人間としての幅を増やして、生徒への教育に生かして欲しいと思います。</p> <p>浪速中学校の環境は、全てにおいてとても高いレベルであると思います。生徒たちの充実感、先生方のきめ細やかな対応、その成果が、学力向上だけでなく、高いレベルでの部活動との両立の実現に、表れているのではないかと思います。学校の関係者の皆さん、先生方、生徒の皆さん、みんなの日々の努力の賜物だと感じます。 この先もずっと良い学校であって頂きたいです。</p> <p>中学生といえどもまだまだ子供。今の子どもたちは格差の幅が大きいので、ご対応は大変ですが、道徳の心を育ててください。本学の建学精神『明浄正直』をベースに飛躍していただくことを期待しております。</p> <p>今回の新型コロナウイルスの件で、いつ何がどうなるかわからない時代になりました。5G時代になる事によって、またさらなるオンライン化が勧めやすくなるかと思えます。いかなる事にも素早く対応できるように、危機管理を最大限に持って、素早く対応できる様に準備していただきたいと思っています。 浪速ならではの教育を進めていっていただきたいと思っています。</p>

中期目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
学校運営	(1) 神社神道の精神である「浄明正直」実現	ア、授業・学校行事を通して神社神道の精神を学び成長の糧とする。毎月一日の学院神社参拝、伊勢HR合宿を実施。	学校の中心的な取り組みとして、道徳の授業・総合的な学習の時間と関連させて実施する。	行事（一斉参拝・春季例祭・秋季例祭・伊勢HR合宿）と授業（総合神道・道徳）を連携させて実施する。
		イ、奉仕活動を積極的に実施し、奉仕の精神を養う。	校内外の清掃活動を実施	木曜日に、HR教室以外の清掃活動を実施した。コロナ関係で、校外清掃活動のクリーンアップ作戦は実施しなかった。
	(2) 教員研修の充実	ア、道徳教育推進委員会による道徳研修会の実施。	学校内での研修会と外部の研究会への参加	今年度は実施なし。
		イ、外部講師を招いて、教職員全員対象の研修会を実施	現在、社会的問題（人権等）となっているテーマについての研修を実施	6月22日・11月30日・3月19日に実施をした。
		ウ、ICT教育関連の研修会・発表会・見学会の参加。	研修会、発表会、見学会の参加。研究授業の実施	各教科ともICT機器を積極的に用いた授業展開を実施した。5月18日には教職員ICT研修会を実施した。
		エ、新任教諭による研究発表会の実施	新任教諭が存在する年に開催される	1月29日・2月19日・3月12日に実施した。
	(3) 学校施設の充実	ア、学習施設の整備充実	常に、必要な教材等の検討を行う。生徒にとって必要な機器の充実を検討する。	Chromebook の購入・活用。特別ICT教室の活用。
		イ、校内学習補助機材等の充実		
	(4) 危機管理体制の確立	ア、災害時マニュアルを作成する	マニュアルの作成（更新）	総務・生徒生活指導部が中心となり対応した。
		イ、水・食料・レスキューシートの備蓄を実施する		
		ウ、防災訓練、避難訓練の実施	大阪880万人訓練の日に実施	9月1日に実施した。
		エ、住吉消防署による防災研修	年1回、中2対象で実施	本年度は実施せず。
	基本的な生活習慣の確立	(1) 人権教育	ア、生活実態調査	各学年1学期に1回実施
イ、講演会及び体験学習の実施			各学年2学期に実施	11月30日にガーナ共和国とオンラインで接続して実施した。テーマ：異文化理解。
ウ、道徳の授業と関連させた人権教育			道徳教育推進委員会で検討実施	計画通り実施した。
(2) 生活指導		ア、正門での登下校時の指導	毎日登下校時実施	計画通りに実施しており、現在の所、指導内容の成果が出てきており、問題発生件数は年々減少している。
		イ、いじめ防止マニュアルに添ったいじめ実態調査アンケートの実施	学期に1回実施	今後も継続的な指導が最も効果的であると確信して、日々の指導を充実させていく。8月3日に教職員対象のいじめ研修会を実施した。
		ウ、服装、頭髪等の指導	月1回の全体指導	予定通り実施した。
		エ、中学朝礼での生徒生活指導部長からの注意	月1回の全体指導	予定通り実施した。
(3) 講演会、講習会の実施		ア、薬物乱用防止教室	中高合同で実施	11月16日に実施した。
		イ、防犯教室	中高合同	12月7日に実施した。
		ウ、人権研修会	各学年で実施	11月10日・11月24日・1月26日に実施した。
		エ、ネット犯罪防止教室	中高合同	4月6日に実施した。
		オ、自転車通学者講習会	中学で実施	1年生は4月6日、2・3年生は4月13日に実施。
学力向上と進路		(1) 教科指導力の強化	ア、教員研修会の実施。	教科別研修会の実施。
	イ、道徳教育実践による教員のスキルアップ。		毎週の道徳授業の実践。	
	ウ、大学講師と連携した勉強会		各教科主任と連携した検討実施	
	(2) 英語教育の強化	ア、英語検定の全員受験	3学期に実施	6月2日に希望者での実施、1月12日に全員受験を実施した。
		イ、イングリッシュキャンプの実施	夏休み中に校内で実施	8月17日～20日に校内にて実施した。
		ウ、オンライン英会話の実施	各生徒、毎週1回の実施	授業として週1回実施した。
		エ、ECL教室の活用	英語教育の拠点として活用	オンライン英会話を中心に活用している。
		オ、語学研修の実施	3月に校外で実施	3月8日～16日海外語学研修をオーストラリア（ゴールドコースト）にて実施した。
		カ、英語科教員に英語検定取得とTOEICスコアの取得の奨励	英語検定準1級またはTOEICスコア730以上を目指す	新人教員など基準クリアーを目指して資格試験を受験予定の教員が複数いる。
	(3) 講習等の実施	ア、始業前の学習指導	朝学習、視写、朝読書の実施	視写で視写ノートの活用。朝学習で問題集の活用。
		イ、放課後講習の実施	各学年I類生徒への講習を実施。すらら（自立学習	毎週火曜日と金曜日に実施した。

		ウ、長期休暇中の講習実施	応援プログラム)を活用。	計画通り実施した。	
(4) ICT教育の推進	ア、ICT教育先進校、研究会、展示会参加。		学校訪問・研究会・展示会に参加。電子機器を使用した研究授業を実施。	ICT教育の充実をすすめ、電子黒板・Chromebookを活用した授業展開している。	
	イ、生徒に1人1台のChromebookを配付		中学1年生全員に、Chromebookを配付。	1人1台のChromebookを完備。	
	ウ、研究授業の実施		電子黒板・Chromebookを使用した授業実践	計画通り実施した。	
(5) 外部講師による特別授業(出前授業)の実施	ア、道徳の専門家による道徳の授業		道徳教育推進委員会により実施	7月29日に実施した。	
	イ、警察官による防犯教室		住吉警察署と連携して実施	12月7日に実施した。	
保護者地域に開かれた学校づくり	(1) 保護者による授業参観と懇談	ア、授業参観の実施	年2回(4月・11月)の実施	4月22日および11月11日に実施した。	
		イ、成績懇談の実施	学期ごと(7月・12月・3月)の実施	7月・12月・3月に、保護者・生徒・担任の3者で実施。希望者にはリモートで実施。	
	(2) 保護者との連携と情報発信	ア、保護者参加型の行事を実施	学期ごとに実施		浪速祭・耐寒登山をPTAと協力をして実施した。卒業式後の謝恩会は、PTA主催と企画にて校内で実施した。
		イ、classi及びclassroom、ホームページによる情報発信	classi及びclassroom、HPを活用した保護者への情報提供。		ホームページの充実を心がけ、スクールウォッチで学校での出来事を常に発信した。classroomを利用して、保護者連絡を実施。
	(3) 地域活動への参加	ア、地域のイベントに参加	積極的に参加する		7月17日に住吉区民センターにてインボ-コンサートを実施した。
		イ、吹奏楽部定期演奏会(フェニーチェ堺)	3月に実施		吹奏楽部定期演奏会は3月30日に実施をした。
	(4) 奉仕委員会	ア、地域清掃奉仕活動	年3回実施		今年度クリーンアップ作戦は実施しなかった。

4 令和6年度に向けた改善について

・授業に興味が無いと答えた生徒（約12%）に対する対応について

習熟度別授業の利点を活かし、生徒の状況に合致した授業展開を心がける。また、自分の将来について考えるキャリア教育を今まで以上に充実をさせ、授業の必要性や大切さを併せて教えていきたい。

・地域との交流の活性化について

令和5年度に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受けて、学校行事についてはほぼコロナ以前に戻すことができた。そのため、昨年以上に学校が楽しいと答えている生徒の割合は増加している。ただ、近隣住民等の交流等については、暫く途絶えていた関係もありすぐに元通りとはならなかった。また、生徒数の増加もあり、文化祭などの行事への近隣の方の参加についても見送らざるを得なかった。学校の運営に関連し、近隣の方のご理解、ご協力は非常に重要であるため、実施方法等を見直し、交流を活性化させる方策を検討する。地域からのご要望もあり、本年11月9日(土)に予定されている住吉区総合防災訓練への参加を検討する。

・学校週5日制に向けた土曜日の活用方法について

令和6年の2学期から開始を予定している学校週5日制について、土曜日の活用方法を高校とも共同で検討を進めている。

自学自習を中心とし、生徒やご家庭の様々なニーズに対応すべく検討を進めているが、生徒自身にその意義や目的を理解してもらう必要があり、いかに分かりやすく、様々な形態で説明をするかが重要になると考えている。講義以外にも表現力の向上の企画や、キャリア教育や進路ガイダンス等も取り入れ、スムーズに学校週5日制に移行できるように準備を進めたい。

・登校ままならない生徒や頻繁に早退を希望する生徒に対する対応について（継続）

以前同様に、ご家庭と情報を共有しできる限り登校を促し、また逆に登校した後は、発熱等の体調不良を除いてはできるだけ早退をさせないようにしたいと考えている。令和6年2月29日(木)に「不登校生徒の予防と対応」として同分野で非常に著名な工藤弘先生（長野県安曇野市）を講師にお迎えし、教員研修を行った。同氏の知見を参考に、より不登校の解消に取り組んでいきたい。

・心の教育について

道徳を中心とした心の教育は本校の中心的な存在である。内容を吟味し、学校が一丸となって道徳教育を推進し、他を理解し尊重する生徒の育成に努めたい。また、奉仕活動としてクリーンアップ作戦（地域の清掃活動）を復活させたい。

・危機管理マニュアルの改訂とより実践的な自然災害に対する備え等について

教職員のアンケートから、近年多発する自然災害により、より実践的な避難訓練や、その際の指示系統等の周知徹底について求められている。令和6年度に危機管理マニュアルを改訂するとともに、総務部とも連携し、避難訓練の実施内容について検討する。